

北海道の

地域医療構想を考える

地域医療の崩壊を招かないために

講師 三重短期大学 生活科学科

教授 長友 薫輝 氏



ながとも まさてる。1975年宮崎県生まれ。社会福祉士。三重県国民健康保険運営協議会準備会委員、三重県社会福祉審議会委員、松阪市地域包括ケア推進会議会長、自治体問題研究所理事、日本医療総合研究所理事等を務める。専攻は社会保障論。主な著書には『長友先生、国保ってなんですか』『市町村から国保は消えない』（自治体研究社）などがある。

「地域医療構想」はデータに基づき、各地であるべき医療を議論し形成する契機としてとらえることができます。ところが、各都道府県における「地域医療構想」の策定状況をふまえれば、実際には病床数の決定が先行するなど、医療の将来構想を地域で議論し、合意形成を図っていく状況には至っていないように見受けられます。「地域医療構想」策定に向けた地域の動向などと共に、これからの医療を地域でどのようにつくっていくのか地域医療構想にみる医療保障をつくる視点についてお話し頂きます。

日時 平成29年2月18日(土)

午後3時～5時

場所 札幌東急REIホテル2階 チェルシー
札幌市中央区南4条西5丁目

参加費 無料

お早めに
お申し込みを！

公開医政講演会に参加申し込みします
送信先：FAX 011-231-6283

会員名	参加人数	名

■お問い合わせは



一般社団法人
北海道保険医会

札幌市中央区大通西6丁目北海道医師会館3階

TEL 011-231-6281 FAX 011-231-6283